

2020年3月期第4四半期 決算説明資料

米国会計基準 (US GAAP)

野村ホールディングス株式会社

2020年5月

目次

プレゼンテーションの概要

- エグゼクティブ・サマリー(P3-6)
- 2020年3月期決算の概要(P7)
- セグメント情報(P8)
- 営業部門(P9-10)
- アセット・マネジメント部門(P11-12)
- ホールセール部門(P13-15)
- 金融費用以外の費用(P16)
- 強固な財務基盤を維持(P17)
- 資金調達と流動性(P18)

Financial Supplement

- バランス・シート関連データ(P20)
- バリュース・アット・リスク(P21)
- 連結決算概要(P22)
- 連結損益(P23)
- 連結決算: 主な収益の内訳(P24)
- 連結決算: セグメント情報と地域別情報 税前利益(損失)(P25)
- セグメント「その他」(P26)
- 営業部門関連データ(P27-30)
- アセット・マネジメント部門関連データ(P31-32)
- ホールセール部門関連データ(P33)
- 人員数(P34)

新型コロナウイルス感染症に対する当社の対応

社員

- 従業員及びその家族の安全を確保しつつ、各地域で業務継続計画を発動
 - 7割以上の社員を在宅勤務に切り替え
 - 在宅勤務に必要なITインフラ(例:ラップトップ、追加モニター、IPフォン等のハードウェア、各種ソフトウェアのインストール)を提供
 - 市場機能の継続を確実なものとするため、早い段階から海外出張等を自粛
 - 海外ではロックダウン開始前から社会的距離も徹底
 - 営業部門でも、4/8から7都府県、4/20から全国の店頭業務を休止し、お客様とのコミュニケーションを電話やメール、オンラインに移行
- 4月の入社式および研修をオンラインで実施
- 海外のインターン・プログラム「2020 Summer Analyst program」は、形式を変更して各地域で実施予定
- 海外中心に健康イニシアティブを始動(専門家との電話やビデオによるコンサルテーション、心身の健康に関するカウンセリング等)
- 日本・アジアの全社員にマスクを支給

お客様

- 3月のマーケット急変時も、金融資本市場における流動性供給に尽力
- 発行体の資金調達をサポート
 - 3-4月、グローバルで約830億ドル¹(≒8.9兆円)の債券発行案件にブックランナーとして関与
- プライベート・エクイティ、DCMソリューション、財務再構築等のアドバイスなど、幅広いソリューションを通じて資本市場へのアクセスを継続支援
- 欧州に「キャピタル・アドバイザー・グループ」を新設 ~顧客に対し、ストレステストの実施や資金不足の特定などを通じて、課題に対するソリューションを提案
- リサーチ情報やマーケット見通しを提供
 - 営業部門では、メールを活用した顧客向け情報提供体制を強化(マーケット解説動画・レポート、商品・サービス動画の拡充等)
 - 電話会議を通じて、地域金融機関とエコノミストやストラテジストとの個別ミーティングを開催
 - 事業法人向けにバーチャルな顧客イベント開催

地域社会

- 合計5,500万円超を国内外の慈善団体等に寄付
 - 2月上旬、中国大使館に150万人民币元(2,300万円)を寄付
 - 海外で役職員による募金等を寄付(約3,200万円)
 - 英国ではこれまでに集めた資金をNational Health Service (NHS)の慈善団体へ寄付
 - 米国ではこれまでに集めた資金で23万食相当をNew York Foodbank等の米国Virtual Food Drivesに寄付
- 今後、野村グループの役職員による募金を開始するとともに、集まった募金について、野村グループとしてマッチング・ギフト²を拠出予定
- マスクや消毒液の寄付
 - 日本の医療機関など様々な分野で活躍する方々にマスク約100万枚を寄付予定
 - アジアでは複数国の慈善団体を通じてマスクや手洗い用消毒液を寄付
- 新型コロナウイルスが感染拡大する前から接していた慈善団体とはバーチャル形式のボランティア活動等を実施

1. 出所: Dealogic
 2. 社員が有志で福祉団体などに寄付を行う際、社員から集められた金額と同額または一定額を上乗せして企業も寄付する制度

エグゼクティブ・サマリー(1/2)

2020年3月期通期の決算ハイライト

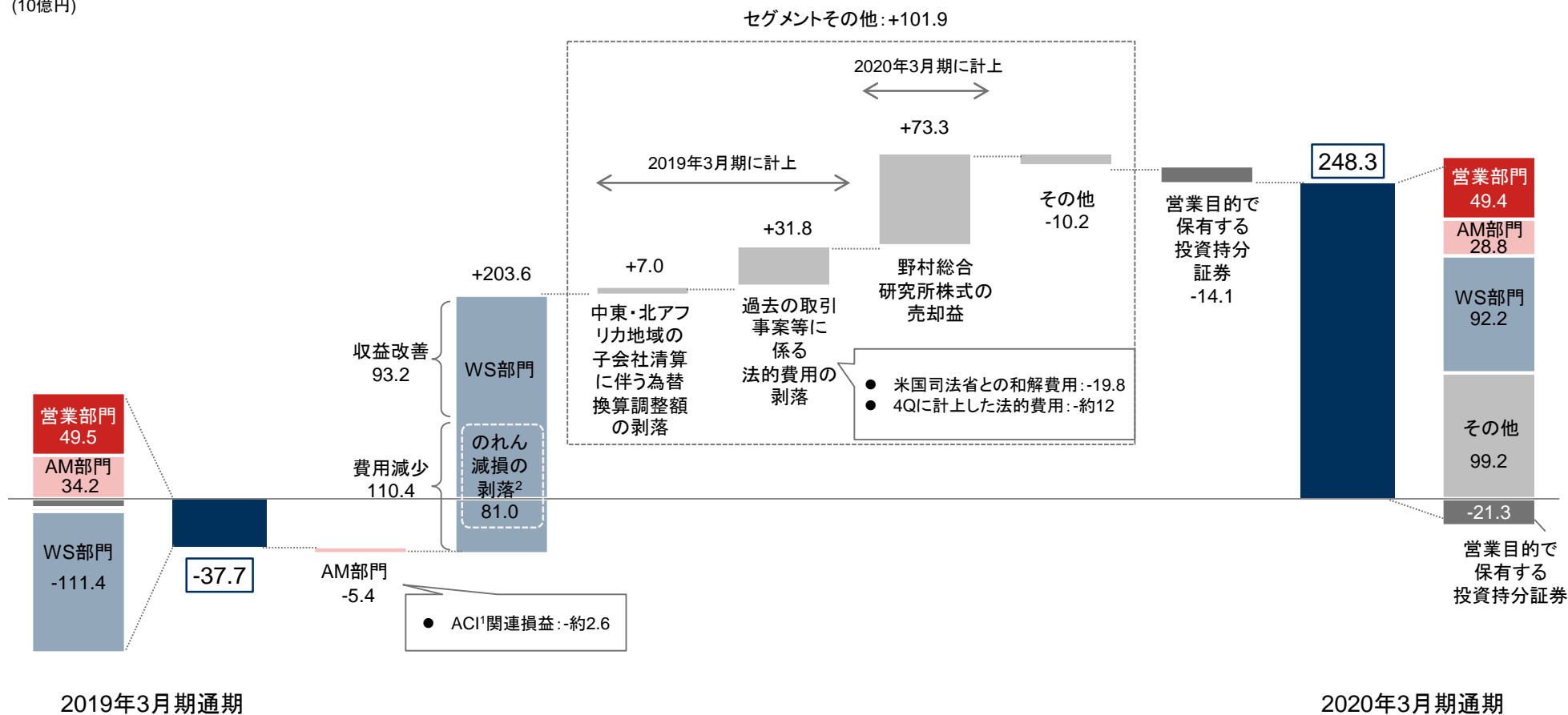
- 収益: 1兆2,878億円(前年比15%増)、税前利益: 2,483億円、当期純利益¹: 2,170億円、EPS²: 66.20円、ROE³: 8.2%
 - 3セグメントの税前利益は1,704億円と前年の税前損失から大幅に回復 ~ホールセール部門の収益性が大きく改善 ...**(A)**
 - 顧客アクティビティの増加やボラティリティの上昇を背景にフィクスト・インカム収益が大幅に伸長し、ホールセール部門収益は前年比17%増加
 - コスト削減の取り組みを継続、前年計上したのれん減損⁴やビジネス・ポートフォリオ見直しに伴う一時費用⁵の剥落もあり、部門費用は17%減少
 - セグメント「その他」の税前利益も大幅に改善 ~前年計上した一時費用⁶が剥落、今期は野村総合研究所株式の売却益(733億円)も貢献 ...**(B)**
- 一株当たり配当金: 期末5円、年間20円

	2019年3月期 通期	2020年3月期 通期	前年同期比	税前利益(損失): セグメント情報	2019年3月期 通期	2020年3月期 通期	前年同期比
収益(金融費用控除後)	1兆1,168億円	1兆2,878億円	15%	営業部門	495億円	494億円	-0.1%
税前利益(損失)	-377億円	2,483億円	-	アセット・マネジメント部門	342億円	288億円	-16%
当期純利益(損失) ¹	-1,004億円	2,170億円	-	ホールセール部門 ⁴	-1,114億円	922億円	-
EPS ²	-29.92円	66.20円	-	3セグメント合計	-277億円	1,704億円	-
ROE ³	-	8.2%	-	その他 ^{4,5}	-28億円	992億円	-
				営業目的で保有する投資持分証券の評価損益	-72億円	-213億円	-
				税前利益(損失)合計	-377億円	2,483億円	-

1. 当社株主に帰属する当期純利益(損失) 2. 希薄化後一株当たり当社株主に帰属する当期純利益(損失) 3. 各期間の当社株主に帰属する当期純利益を年率換算して算出
 4. 2019年3月期に、ホールセール部門に帰属するのれん減損814億円(ホールセール部門で810億円、セグメントその他で4億円)を計上
 5. 2019年3月期4Qに、ビジネス・ポートフォリオ見直しに伴う一時費用103億円(ホールセール部門で84億円、セグメントその他で19億円)を計上
 6. 2019年3月期に、過去の取引事案等にかかる法的費用318億円、中東・北アフリカ地域の子会社の清算手続きが進捗したことに伴う為替換算調整額(-70億円)を計上

前年からの変動分析

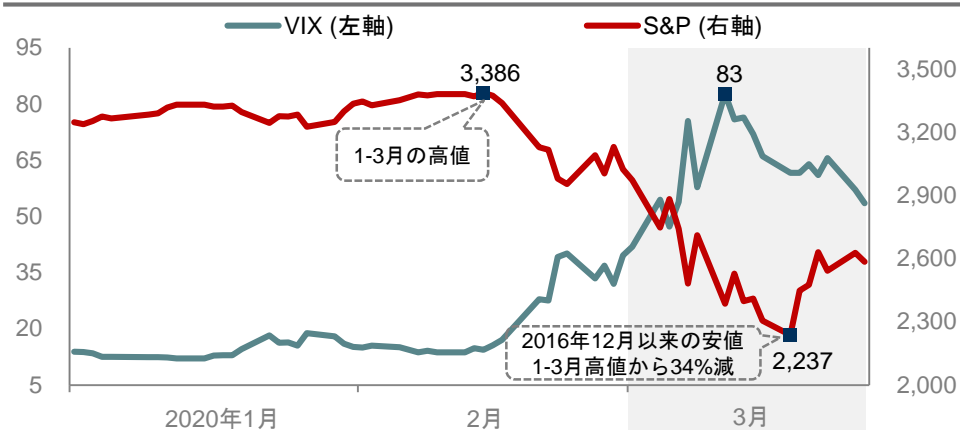
(10億円)



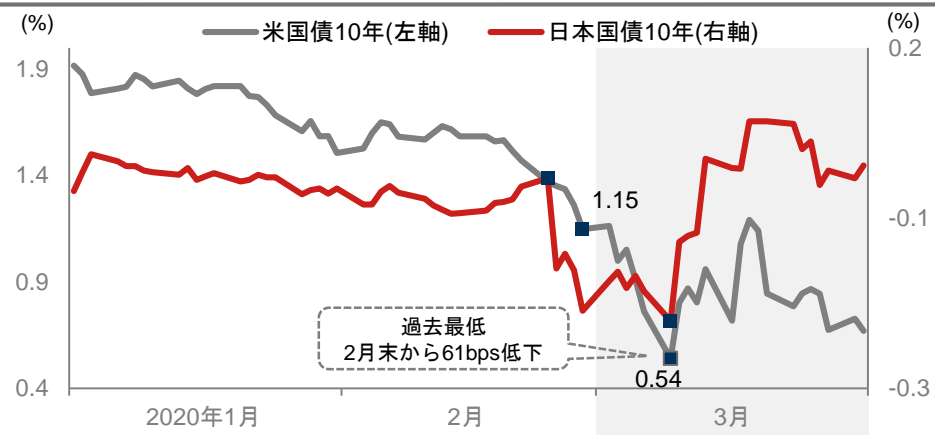
1. アメリカン・センチュリー・インベストメンツ
 2. 2019年3月期に計上したホールセール部門に帰属するのれん減損(814億円)は、810億円をホールセール部門に、4億円をセグメントその他に計上

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大で金融市場は大きく混乱

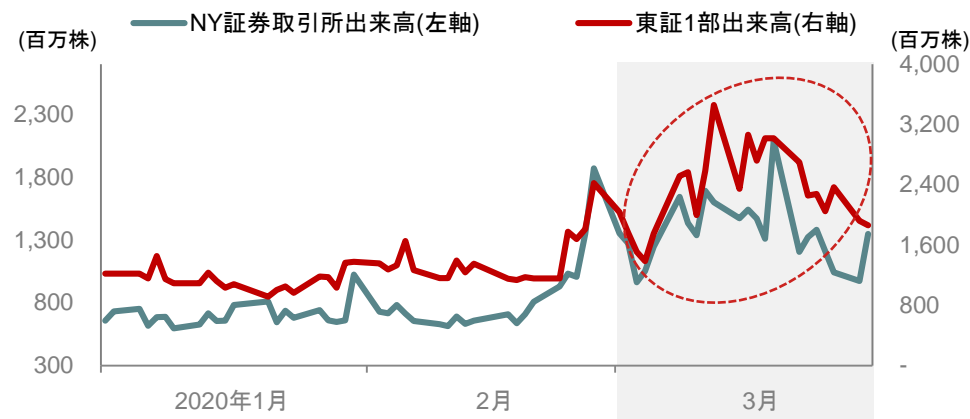
米国株が急落、ボラティリティは急上昇



安全資産の需要が高まり、米国10年国債利回りは歴史的低水準に



3月の株式市場出来高は大幅に増加



各地域でクレジット・スプレッドが急拡大



エグゼクティブ・サマリー(2/2)

2020年3月期第4四半期の決算ハイライト

■ 2月中旬までは各ビジネスが堅調に推移したものの、新型コロナウイルスの世界的な感染急拡大を背景に、3月は金融市場の混乱と実態経済への影響が深刻化 ～お客様、地域社会、従業員の安全を第一に配慮しながら、市場機能の継続に全社を挙げて尽力

■ 収益:2,375億円(前四半期比29%減)、税前損失:247億円、当期純損失¹:345億円、EPS²:-11.31円

■ 歴史的なマーケットの混乱下、3セグメント合計の業績は前四半期比で減少も、税前黒字は維持
営業部門:

- 2月中旬までは前四半期のモメンタムが継続、3月はマーケット急落を受けて投資家心理が悪化
- チャネル・フォーメーション見直しの効果や株式取引の活発化を背景に、前四半期比で増益を確保

アセット・マネジメント部門:

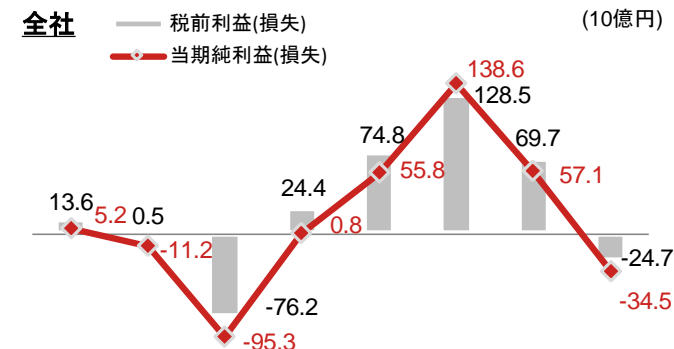
- 15四半期連続で資金は流入も、3月のマーケット急落を受けて運用資産残高が約1割減少
- アメリカン・センチュリー・インベストメント関連損益(-164億円)も重なり、部門業績が悪化

ホールセール部門

- ボラティリティの上昇や顧客アクティビティの増加を背景に金利プロダクトは2010年4月以降で最高の収益水準、為替/エマーGINGやキャッシュ・エクイティも好調
- ローン関連のポジション等で評価損(約350億円)³を計上

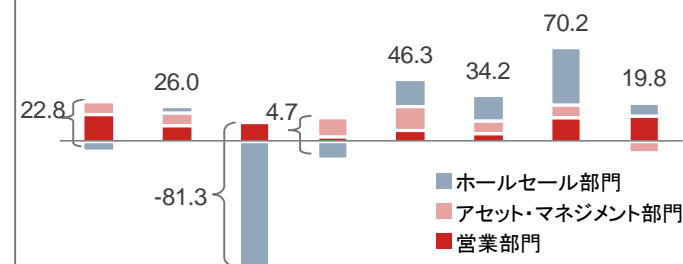
■ 有価証券の評価損等も影響し、3セグメント以外の損益も悪化

税前利益(損失)、当期純利益(損失)¹の推移



2019年3月期				2020年3月期			
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q

3セグメント税前利益(損失)



2019年3月期				2020年3月期			
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q

1. 当社株主に帰属する当期純利益(損失)
2. 希薄化後一株当たり当社株主に帰属する当期純利益(損失)
3. デリバティブに関するカウンター・パーティのクレジット・スプレッドの変化や担保の受け渡しを行っていないデリバティブの評価に起因する損失(約120億円)を含む

2020年3月期決算の概要

決算ハイライト

	2020年3月期 第4四半期	前四半期比	前年 同期比	2020年3月期 通期	前年 同期比
収益合計 (金融費用控除後)	2,375億円	-29%	-21%	1兆2,878億円	15%
金融費用以外の費用	2,622億円	-1%	-5%	1兆396億円	-10%
税前利益(損失)	-247億円	-	-	2,483億円	-
当期純利益(損失) ¹	-345億円	-	-	2,170億円	-
EPS ²	-11.31円	-	-	66.20円	-
ROE ³	-			8.2%	

1. 当社株主に帰属する当期純利益(損失)
2. 希薄化後一株当たり当社株主に帰属する当期純利益(損失)
3. 各期間の当社株主に帰属する当期純利益を年率換算して算出

収益合計(金融費用控除後)、税前利益(損失)

		2020年3月期 第4四半期	前四半期比	前年同期比	2020年3月期 通期	前年 同期比
収益	営業部門	888億円	-1%	20%	3,364億円	-1%
	アセット・マネジメント部門(※1)	70億円	-72%	-77%	926億円	-5%
	ホールセール部門(※2)	1,459億円	-22%	3%	6,486億円	17%
	3セグメント合計	2,417億円	-20%	-2%	1兆776億円	9%
	その他(※3)	123億円	-66%	-76%	2,316億円	76%
	営業目的で保有する投資持分証券の評価損益	-166億円	-	-	-213億円	-
収益合計(金融費用控除後)		2,375億円	-29%	-21%	1兆2,878億円	15%
税前利益 (損失)	営業部門	184億円	4%	5.6x	494億円	-0.1%
	アセット・マネジメント部門(※1)	-87億円	-	-	288億円	-16%
	ホールセール部門(※2)	101億円	-77%	-	922億円	-
	3セグメント合計	198億円	-72%	4.2x	1,704億円	-
	その他(※3)	-279億円	-	-	992億円	-
	営業目的で保有する投資持分証券の評価損益	-166億円	-	-	-213億円	-
税前利益(損失) 合計		-247億円	-	-	2,483億円	-

第4四半期に含まれる3月のマーケット
急変による主な影響

(※1) アメリカン・センチュリー・インベストメント関連損益(-164億円)

(※2) ローン関連ポジション等の評価損(約230億円)

デリバティブに関するカウンター・パーティのクレジット・スプレッドの変化や担保の受け渡しを行っていないデリバティブの評価に起因する損失(約120億円)

第4四半期の「その他」に関する補足

(※3) 経済的ヘッジ取引に関連する損益(-46億円)

デリバティブに関する自社およびカウンター・パーティのクレジット・スプレッドの変化に起因する利益(23億円)
めぶきフィナンシャルグループ株式の評価損(64億円)

収益合計(金融費用控除後)、税前利益

(10億円)	通期		四半期						前四半期比	前年同期比
	2019年3月期	2020年3月期	2019年3月期4Q	2020年3月期						
				1Q	2Q	3Q	4Q			
収益合計(金融費用控除後)	339.5	336.4	74.2	80.6	76.9	90.0	88.8	-1%	20%	
金融費用以外の費用	290.0	286.9	70.9	72.5	71.6	72.4	70.4	-3%	-1%	
税前利益	49.5	49.4	3.3	8.1	5.3	17.6	18.4	4%	5.6x	

決算のポイント

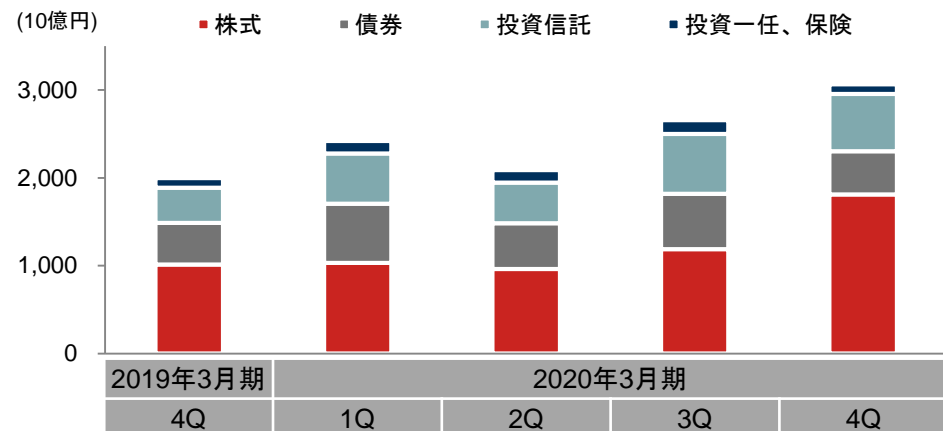
<通期>

- 収益: 3,364億円 (前年比1%減)
- 税前利益: 494億円 (前年比0.1%減)
 - 大型プライマリー案件のあった前年比で株式募集買付は減少も、債券や投信募集買付が増加し、前年並みの収益水準を確保

<第4四半期>

- 収益: 888億円 (前四半期比1%減、前年同期比20%増)
- 税前利益: 184億円 (前四半期比4%増、前年同期比5.6倍)
 - 2月中旬までは前四半期のモメンタムが継続も、3月のマーケット急落を受けて投資家心理が悪化 ~ 株式取引は活況、その他募集買付は前四半期比で減少

総募集買付額¹



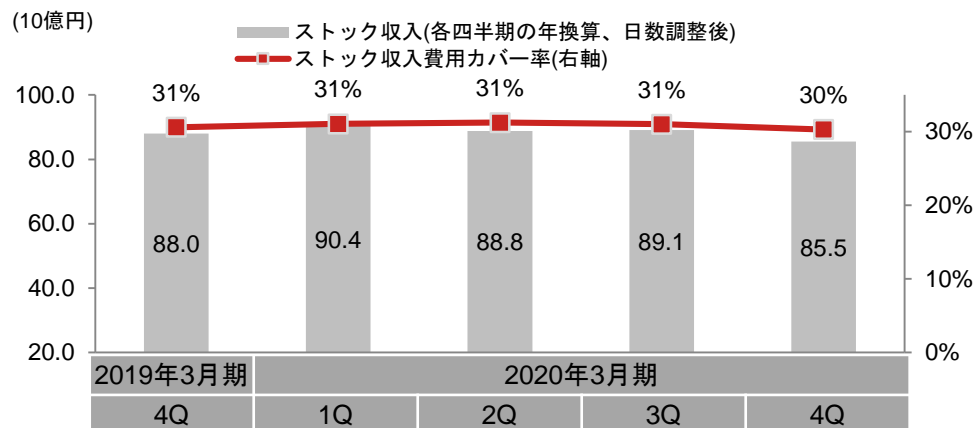
総募集買付額¹は前四半期比15%増

- 株式: 前四半期比53%増
 - 日本株・外国株式ともにセカンダリー株式買付が増加
 - プライマリー株式募集額²(284億円、前四半期比44%減)は減少
- 投資信託: 前四半期比5%減
 - 1-2月は米国株やテクノロジー関連商品を中心に販売が伸長するも、3月はマーケット急落を受けて募集買付が減速
- 債券販売額は4,930億円、前四半期比22%減
 - プライマリー案件の貢献が大きかった前四半期比で外債販売額は減少、個人向け国債販売も減少
- 投資一任契約、保険販売額は前四半期比30%減

1. リテールチャネルのみ対象
 2. リテールチャネル、ネット&コール、ほっとダイレクトが対象

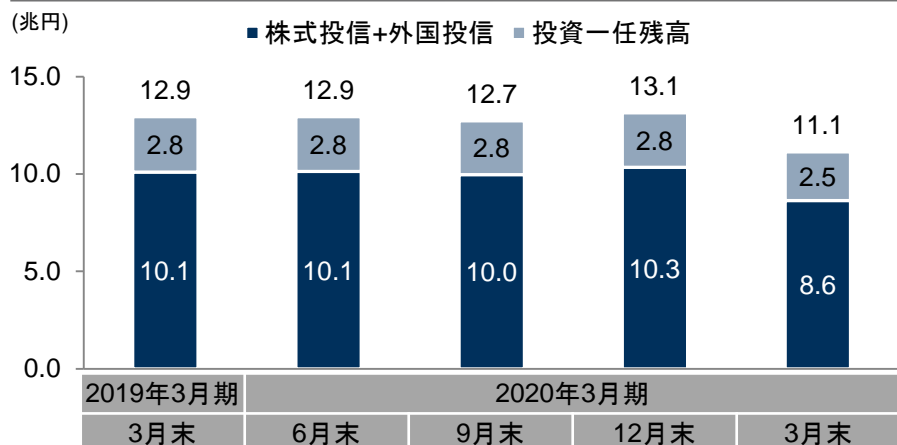
営業部門：マーケット急落で残高が減少、入金預りは増加

ストック収入

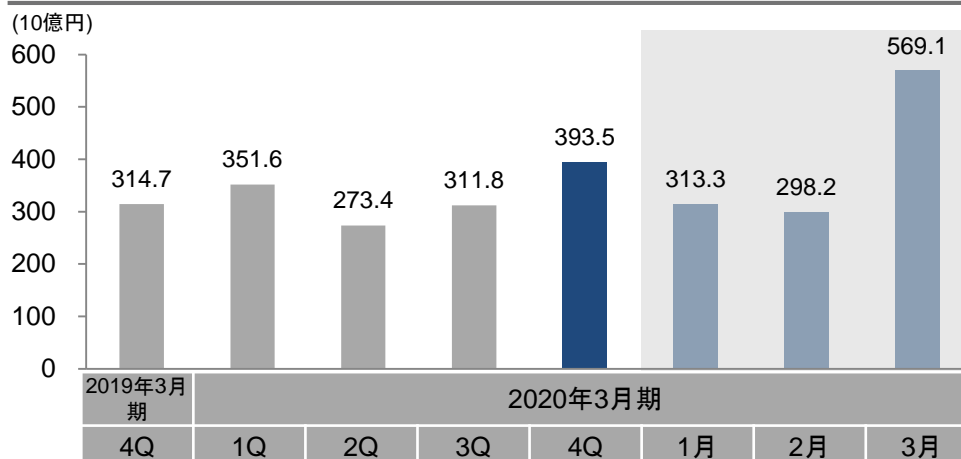


	2020年3月末 / 4Q	2019年12月末 / 3Q
■ ストック収入	213億円	225億円
- 投信純増 ¹	6億円	-1,105億円
- 投資一任純増 ¹	-612億円	-618億円
■ 保険販売額 ²	466億円	648億円
■ 顧客基盤		
- 顧客資産残高	104.0兆円	122.3兆円
- 残あり顧客口座数	532万口座	533万口座
- NISA開設口座数(累計) ³	174万口座	173万口座
- 現金本券差引 ⁴	-5,596億円	2,564億円
- 入金預り ²	1兆1,806億円	9,355億円

投信、投資一任残高



入金預り²(月平均)



1. リテールチャネル、国内のウェルス・マネジメント・グループが対象
3. ジュニアNISAを含む

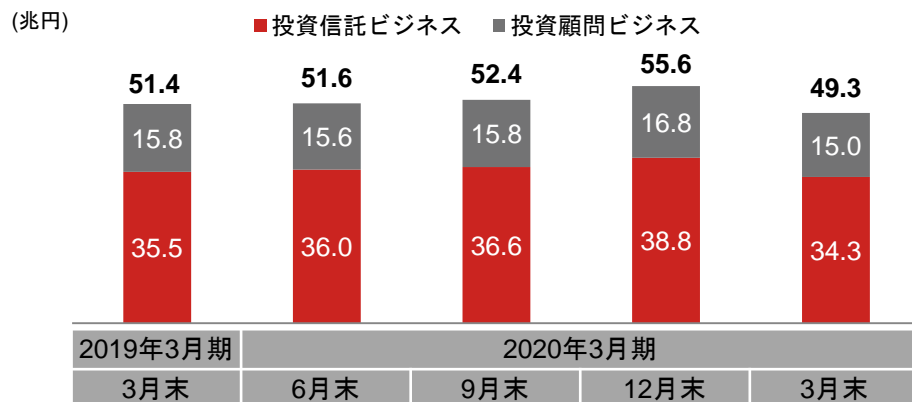
2. リールチャネルのみ対象
4. 地域金融機関を除く、現金および本券の流入から流出を差引

アセット・マネジメント部門

収益合計(金融費用控除後)、税前利益(損失)¹

(10億円)	通期		四半期						
	2019年 3月期	2020年 3月期	2019年 3月期 4Q	2020年3月期				前四 半期比	前年 同期比
				1Q	2Q	3Q	4Q		
収益(除:ACI関連損益)	102.9	100.2	26.0	25.8	25.0	26.0	23.4	-10%	-10%
ACI関連損益	-5.0	-7.6	4.9	8.7	0.7	-0.6	-16.4	-	-
収益合計 (金融費用控除後)	97.8	92.6	30.9	34.5	25.7	25.4	7.0	-72%	-77%
金融費用以外の費用	63.7	63.8	16.5	16.4	15.6	16.1	15.8	-2%	-4%
税前利益(損失)	34.2	28.8	14.4	18.1	10.0	9.3	-8.7	-	-

運用資産残高(ネット)²



決算のポイント

<通期>

- 収益: 926億円 (前年比5%減)
- 税前利益: 288億円 (前年比16%減)
 - ビジネスは堅調~1年間で約2兆円の資金が流入
 - アメリカン・センチュリー・インベストメンツ(以下、ACI)関連損益が部門収益を押し下げ

<第4四半期>

- 収益: 70億円 (前四半期比72%減、前年同期比77%減)
- 税前損失: 87億円
 - 15四半期連続で資金は流入も、3月のマーケット急落を受けて運用資産残高が約1割減少 ~運用報酬も低下
 - ACI株式の時価評価損も重なり、部門収益は前四半期比で大きく低下

投資信託ビジネス

- ETFへの資金流入は継続、残高は時価要因により減少(3月末:16.9兆円、シェア³:45%)
- 銀行等窓販や確定拠出年金(DC)専用投信で資金が流入したものの、新興国投信やファンドラップの解約に伴う資金が流出

投資顧問及び海外ビジネス

- 国内では公的年金から外債プロダクトで資金流入、海外は米ハイ・イールド運用商品等で資金が流出

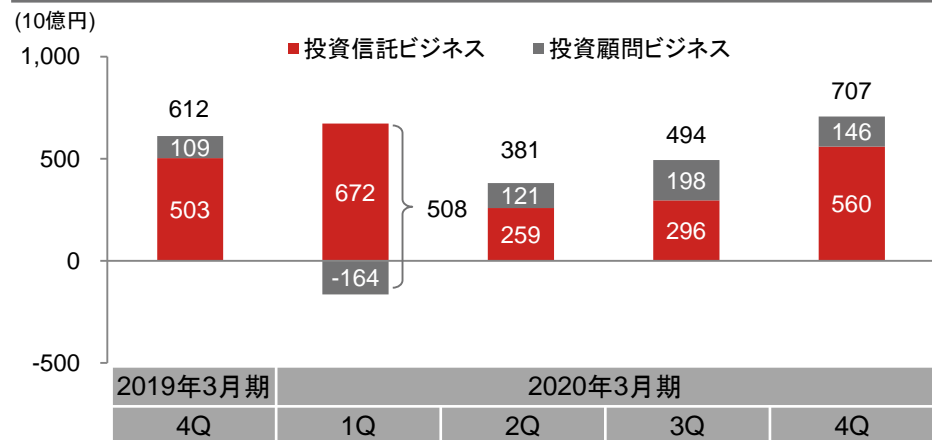
1. この表は、アセット・マネジメント部門における収益合計(金融費用控除後)に対する、管理会計ベースで作成された米国会計原則に基づかない指標である収益(ACI関連損益を除く)およびACI関連損益の調整を示す。「ACI関連損益」には、当社が保有するACI株式の時価評価損益、ACI株式取得資金に係る利息相当額、および当社がACIから受領した配当金等が含まれる

2. 野村アセットマネジメント、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント、ウエルス・スクエアの運用資産の単純合計(グロス)から重複資産を控除

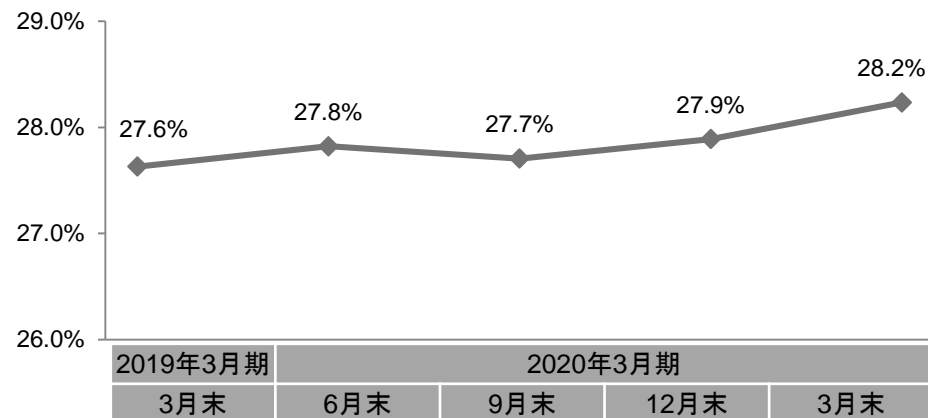
3. 出所: 投資信託協会

アセット・マネジメント部門:DC専用投信の資金流入が継続

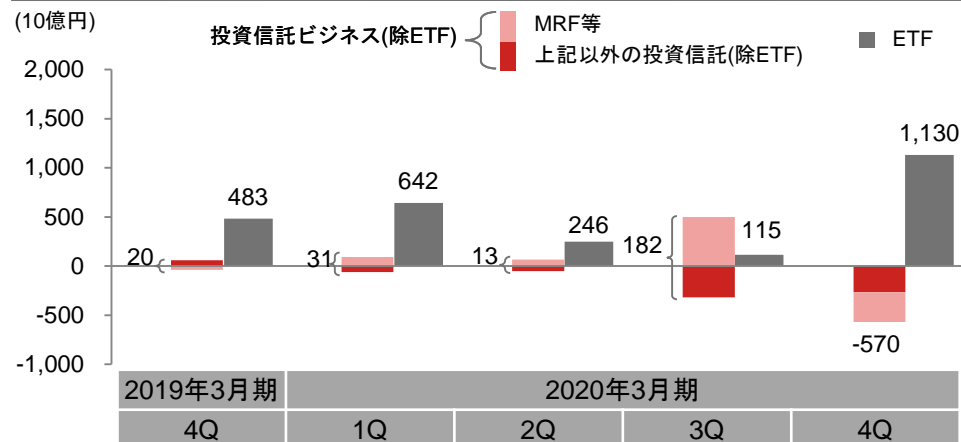
資金流出入¹



野村アセットマネジメントの公募投信シェア²

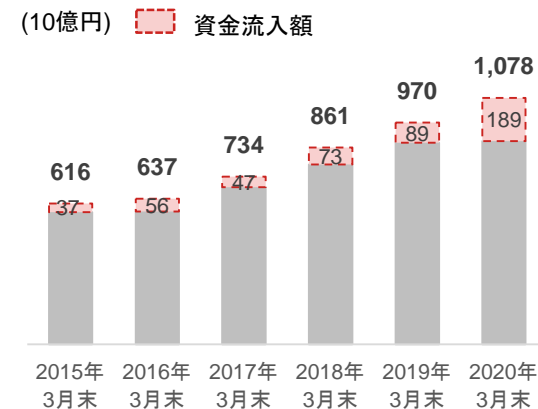


投資信託ビジネスの資金流出入内訳¹



確定拠出年金(DC)専用投信の残高推移

- ✓ 確定給付企業年金(DB)から確定拠出年金(企業型DC)への制度移行を背景に、DC市場は拡大基調
- ✓ 顧客のリスク許容度に見合った長期的な資産形成を支援する商品提案が残高拡大に寄与
- ✓ 継続的な資金流入を背景に、残高は1兆円を突破



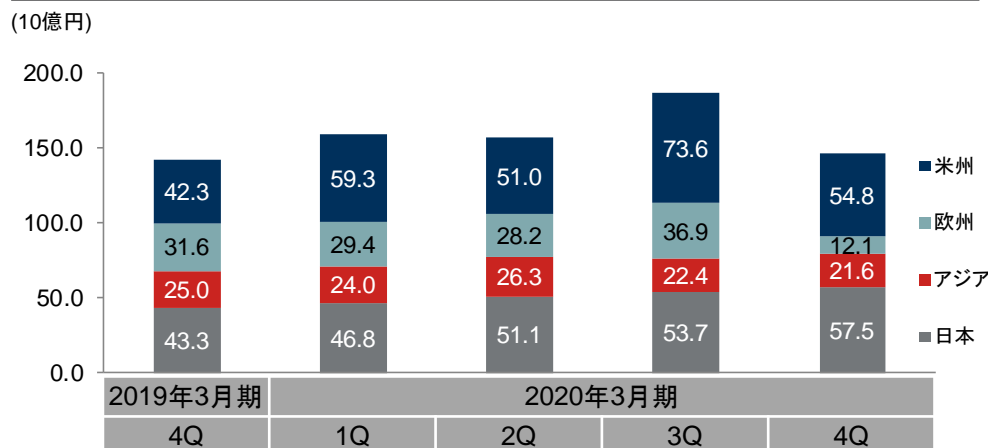
1. 運用資産残高(ネット)に基づく
2. 出所:投資信託協会

ホールセール部門

収益合計(金融費用控除後)、税前利益(損失)^{1,2}

(10億円)	通期		四半期						前四半期比	前年同期比
	2019年3月期	2020年3月期	2019年3月期4Q	2020年3月期						
				1Q	2Q	3Q	4Q			
グローバル・マーケット	453.0	562.9	113.6	135.7	132.8	160.1	134.3	-16%	18%	
インベストメント・バンキング	102.3	85.7	28.6	23.7	23.9	26.4	11.6	-56%	-59%	
収益合計(金融費用控除後)	555.4	648.6	142.2	159.5	156.7	186.5	145.9	-22%	3%	
金融費用以外の費用	666.8	556.4	155.3	139.5	137.8	143.3	135.8	-5%	-13%	
税前利益(損失)	-111.4	92.2	-13.0	20.0	18.9	43.2	10.1	-77%	-	

地域別収益



決算のポイント

<通期>

- 収益: 6,486億円 (前年比17%増)
- 税前利益: 922億円
 - グローバル・マーケットは、金利プロダクトやアジアの為替/エマーシング中心にフィクスト・インカム収益が大幅に改善し、前年比24%増収
 - インベストメント・バンキングは収益機会の減少や3月のクレジット市場急落によるローン関連ポジションの評価損が影響し、前年比16%減収
 - 費用は17%減少 ~コスト削減の取り組みは当初計画を上回って進捗、前年計上したのれん減損²やビジネス・ポートフォリオ見直しに伴う構造改革費用は剥落

<第4四半期>

- 収益: 1,459億円 (前四半期比22%減、前年同期比3%増)
- 税前利益: 101億円 (前四半期比77%減)
 - 金利や為替/エマーシングなどのマクロ・プロダクトや、キャッシュ・エクイティは前四半期比で大幅に増収
 - 3月のマーケット急変により、ローン関連ポジション等で評価損を計上(約350億円)³

地域別収益(前四半期比、前年同期比)

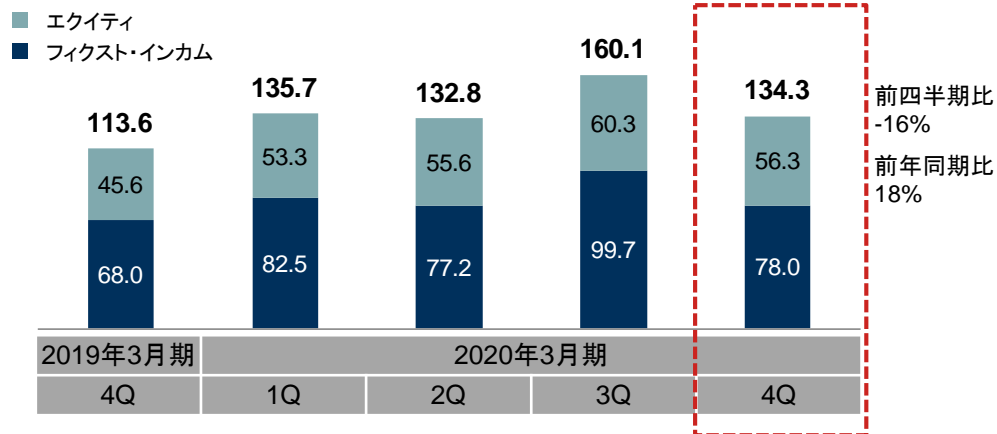
- 日本: 575億円(7%増、33%増)
 - ボラティリティや顧客アクティビティの増加を背景にエクイティが増収
- 米州: 548億円(26%減、29%増)
 - 金利やキャッシュ・エクイティは増収も、証券化商品やエクイティ・デリバティブが減速
- アジア: 216億円(4%減、14%減)
 - 為替/エマーシングが好調、クレジットやエクイティ・デリバティブは減収
- 欧州: 121億円(67%減、62%減)
 - クレジットやファイナンス・ビジネス等で評価損を計上

1. この表は、ホールセール部門における収益合計(金融費用控除後)に対する、管理会計ベースで作成された米国会計原則に基づかないグローバル・マーケットおよびインベストメント・バンキングに係る指標の調整を示す
 2. 2019年3月期第3四半期に計上したホールセール部門に帰属するのれん減損(814億円)は、810億円をホールセール部門に、4億円をセグメントその他に計上
 3. デリバティブに関するカウンター・パーティのクレジット・スプレッドの変化や担保の受け渡しを行っていないデリバティブの評価に起因する損失(約120億円)を含む

ホールセール部門:グローバル・マーケット

収益合計(金融費用控除後)

(10億円)



決算のポイント

<第4四半期>

- 収益: 1,343億円 (前四半期比16%減、前年同期比18%増)
 - フィクスト・インカム、エクイティ共にフロービジネス中心に顧客アクティビティの増加を的確に収益化するも、3月のマーケット急変を受け、ローン関連ポジション等で評価損(約250億円)¹を計上

フィクスト・インカム

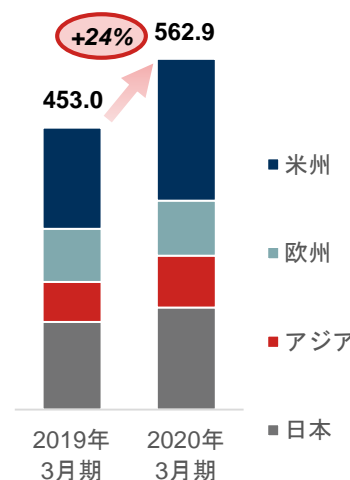
- 収益: 780億円 (前四半期比22%減、前年同期比15%増)
 - 米州・日本の金利プロダクトやアジアの為替/エマーキングなど、マクロ・プロダクトが前四半期比で大幅に増収も、クレジット・スプレッドの急拡大からローン関連のポジションを中心に評価損を計上

エクイティ

- 収益: 563億円 (前四半期比7%減、前年同期比23%増)
 - ボラティリティ急上昇を背景とした市場売買高の増加に伴い、キャッシュ・エクイティは好調、デリバティブは米州・アジアが減速も、日本は増収

2020年3月期通期および第4四半期 地域別収益

(10億円)



前年同期比	前四半期比		
	グローバル・マーケット		
グローバル・マーケット	フィクスト・インカム	エクイティ	
↑	↓	↓	↓
↓	↓	↓	↑
↓	↑	↓	↓
↑	↓	↑	↑

↑ 0% ~ ±5%
 ↓ ±5% ~ ±15%
 ↑ ±15% ~

<通期>

- 2019年4月のビジネス・ポートフォリオ見直しが奏功、年間を通じて顧客ニーズ・市場の動きを適格に捉え、フィクスト・インカムが大幅改善、エクイティも増収

<第4四半期>

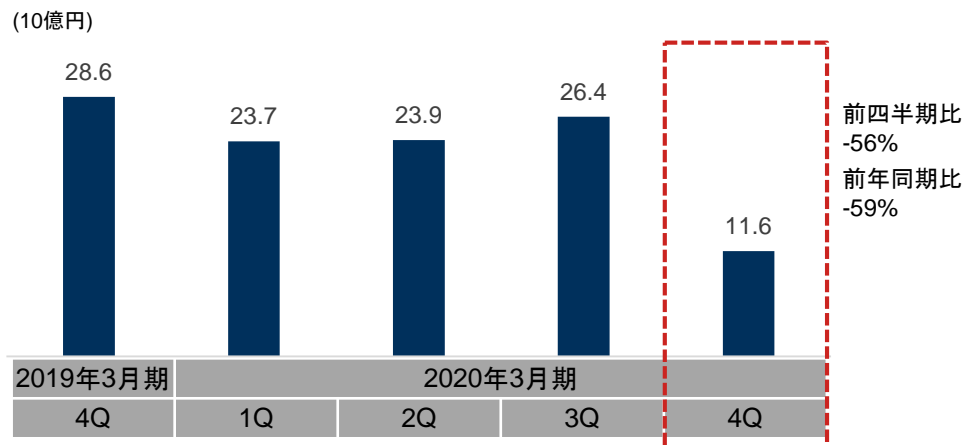
- 米州: フィクスト・インカムは金利プロダクトが好調も、証券化商品の在庫等で評価損を計上、エクイティはキャッシュが増収、デリバティブが苦戦
- 欧州: フィクスト・インカムはクレジットやローンで評価損を計上、キャッシュ・エクイティは増収
- アジア: フィクスト・インカムは為替/エマーキングが好調、エクイティはデリバティブが低調
- 日本: フィクスト・インカムは金利および為替/エマーキングが好調も、クレジットが低調、エクイティはキャッシュ、デリバティブともに増収

1. デリバティブに関するカウンター・パーティのクレジット・スプレッドの変化や担保の受け渡しを行っていないデリバティブの評価に起因する損失(約120億円)を含む

ホールセール部門: インベストメント・バンキング

- 第1～3四半期の公表案件
- 第4四半期の公表案件
- 第4四半期の完了案件

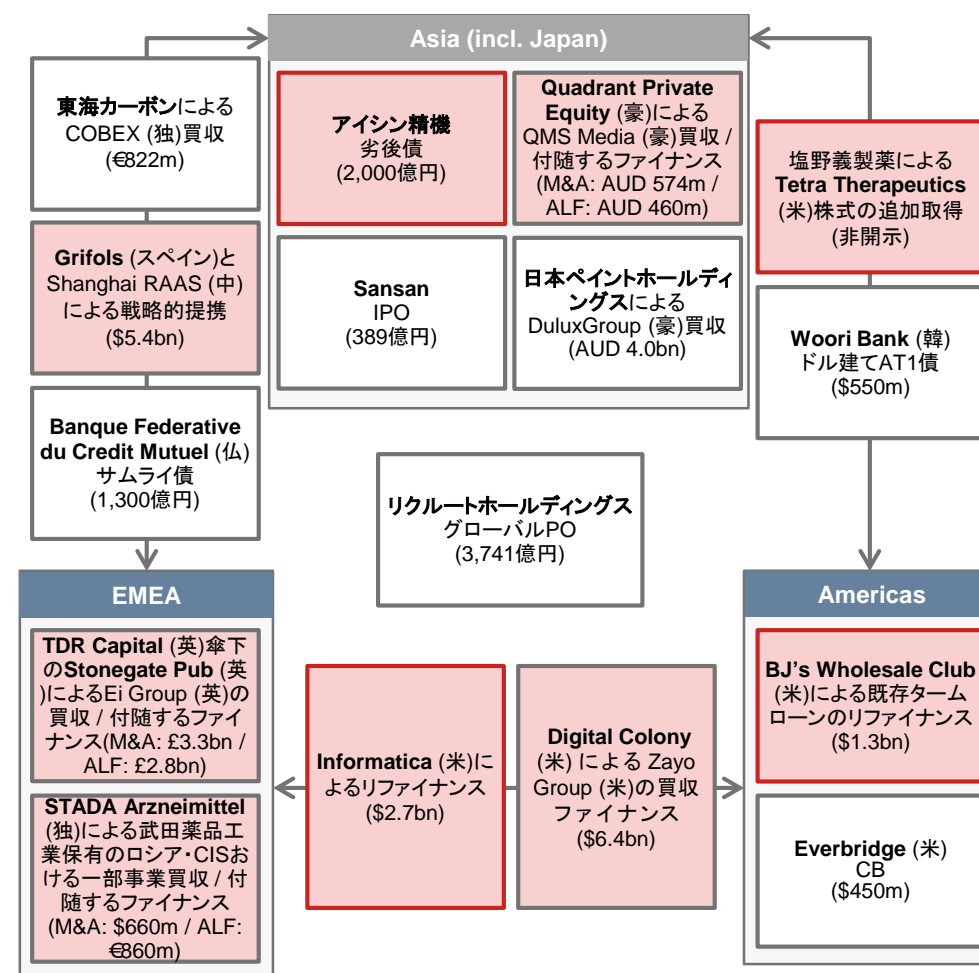
収益合計(金融費用控除後)



決算のポイント

- <通期>
- 収益: 857億円 (前年比16%減)
 - 第3四半期までは前年同期並みの収益を維持するも、2月中旬以降のマーケット急変を受けて事業環境が大幅に悪化
- <第4四半期>
- 収益: 116億円 (前四半期比56%減、前年同期比59%減)
 - IPO/PO案件の中止・見送りが発生
 - クレジット・スプレッドの急激なワイドニング等により、ローン関連のポジション等で約100億円の評価損を計上
- 日本:
- M&A収益は拡大するも、ECMやDCMは前四半期比で減収
 - 日本関連M&A、IPOのリーグテーブル1位¹
- 海外:
- M&A完了案件が貢献し、欧州・アジアのM&A収益は前四半期比で増加
 - 米州・欧州の買収/レバレッジド・ファイナンス等で評価損を計上

高プロファイル案件、クロスボーダー案件を獲得

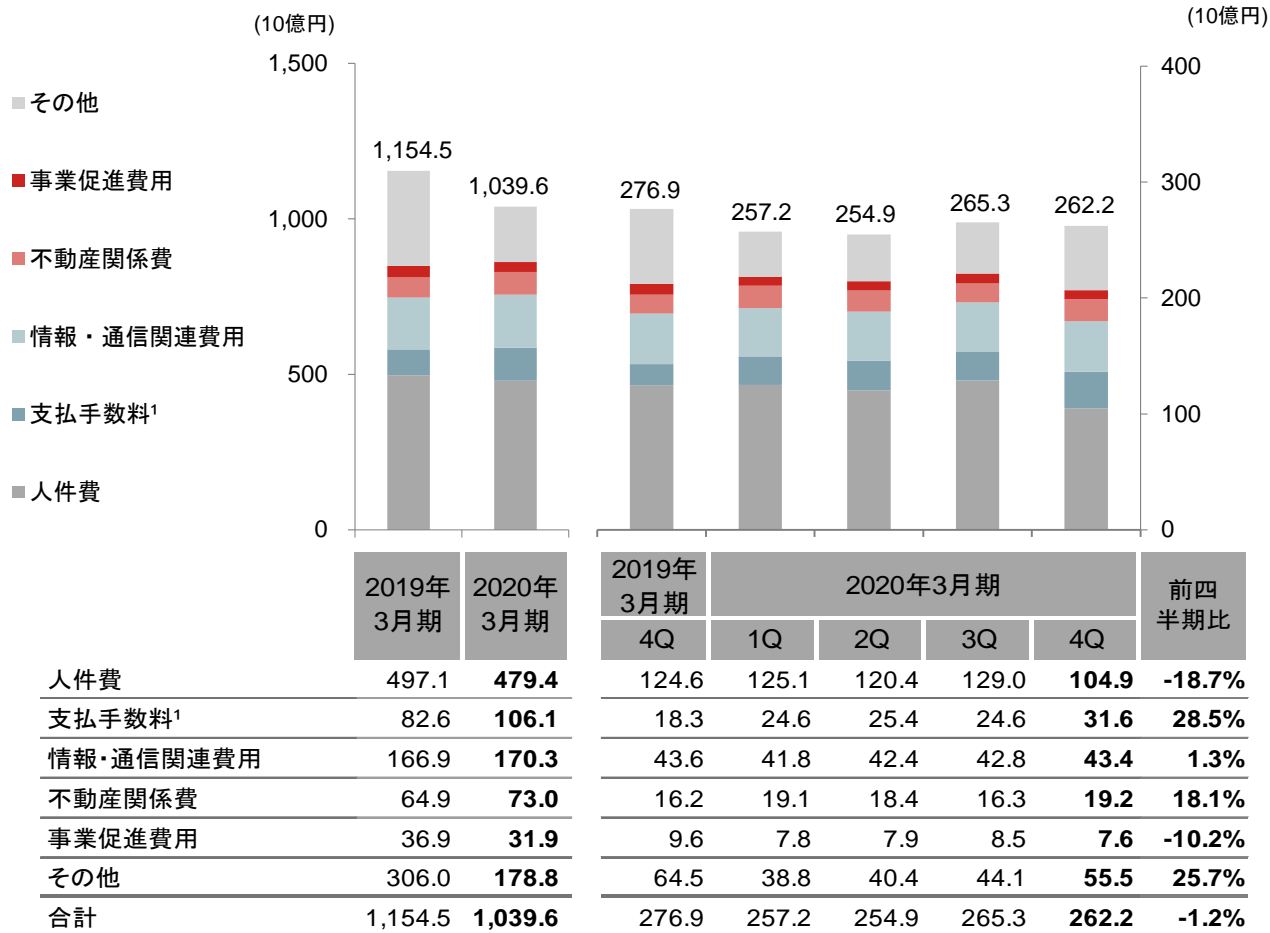


1. 出所: リフィニティブ、期間: 2019年4月~2020年3月

金融費用以外の費用

通期

四半期



決算のポイント

<通期>

■ 金融費用以外の費用: 1兆396億円 (前年比10%減)

- 人件費(前年比4%減)
- ✓ 前年計上したビジネス・ポートフォリオ見直しに伴う一時費用(103億円)が剥落
- ✓ 業績に応じて賞与引当は増加、コスト削減の取り組みを通じて固定費は減少

- 非人件費(前年比15%減少)
- ✓ 前年計上した一時費用¹が剥落

<第4四半期>

■ 金融費用以外の費用: 2,622億円 (前四半期比1%減)

- 人件費(前四半期比19%減)
- ✓ 業績に応じて賞与引当を抑制
- 支払手数料(前四半期比28%増)
- ✓ 取引量に伴う支払手数料の増加
- 不動産関係費(前四半期比18%増)
- ✓ 一部建物付属設備の加速度償却を実施
- その他費用(前四半期比26%増)
- ✓ 3月のマーケット急変を受けてローン関連のポジションで貸倒引当金が増加

1. 2019年3月期に、ホールセール部門に帰属するのれん減損814億円、過去の取引事案等にかかる法的費用318億円、中東・北アフリカ地域の子会社の清算手続きが進捗したことに伴う為替換算調整額(-70億円)を計上

強固な財務基盤を維持

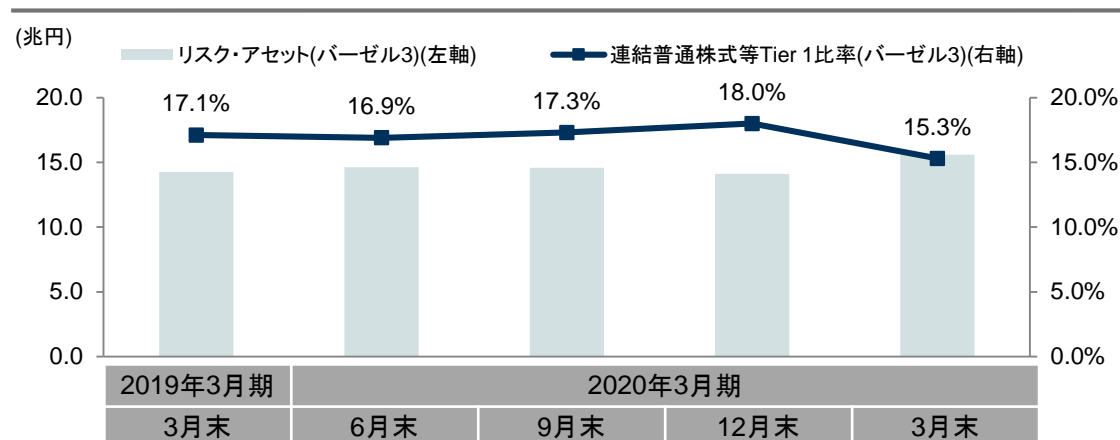
バランス・シート関連指標と連結総自己資本規制比率

	2019年 3月末	2019年 12月末	2020年 3月末
■ 資産合計	41.0兆円	46.2兆円	44.0兆円
■ 当社株主資本	2.6兆円	2.7兆円	2.7兆円
■ グロス・レバレッジ	15.6倍	17.1倍	16.6倍
調整後レバレッジ ¹	9.0倍	9.9倍	10.6倍
■ レベル3資産 ² (デリバティブ負債相殺後)	0.6兆円	0.7兆円	0.7兆円
■ 流動性ポートフォリオ	4.9兆円	5.3兆円	5.4兆円

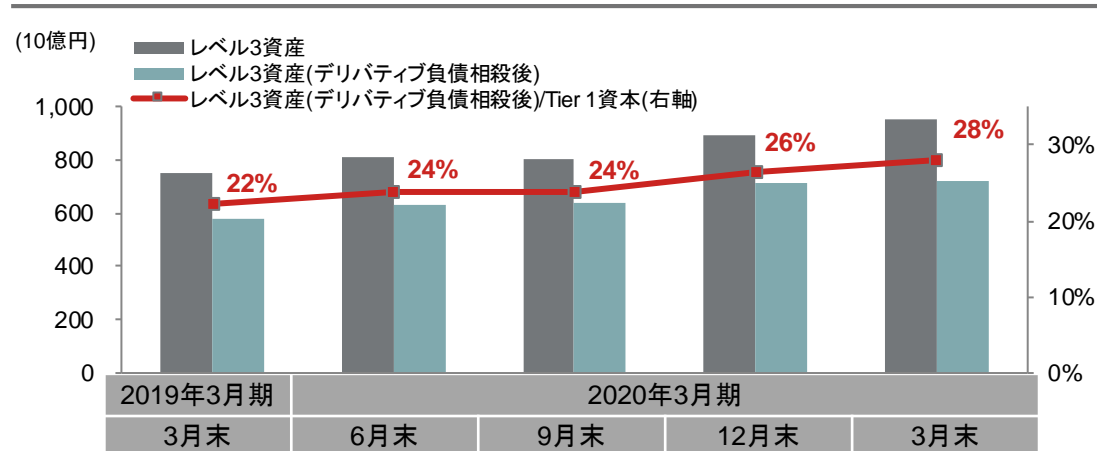
(10億円)	2019年 3月末	2019年 12月末	2020年 3月末 ²
バーゼル3ベース			
Tier 1資本	2,606	2,701	2,568
Tier 2資本	46	46	31
総自己資本の額	2,652	2,747	2,599
リスク・アセット	14,252	14,028	15,608
連結Tier 1比率	18.2%	19.2%	16.4%
連結普通株式等Tier 1比率 ³	17.1%	18.0%	15.3%
連結総自己資本規制比率	18.6%	19.5%	16.6%
連結レバレッジ比率 ⁴	5.03%	4.84%	4.70%
適格流動資産(HQLA) ⁵	4.3兆円	4.1兆円	4.2兆円
連結流動性カバレッジ比率 (LCR) ⁵	198.4%	192.3%	201.1%

1. 調整後レバレッジは、総資産の額から売戻条件付買入有価証券および借入有価証券担保金の額を控除した額を、当社株主資本の額で除して得られる比率
 2. 2020年3月末は暫定数値
 3. 連結普通株式等Tier 1比率: Tier 1資本から、その他Tier1資本を控除し、リスク・アセットで除したもの
 4. Tier 1資本を、エクスポージャー額(オンバランス項目+オフバランス項目)で除したもの
 5. 四半期の日次平均の値

リスク・アセット、連結普通株式等Tier 1比率³



レベル3資産²の推移、Tier 1資本に対する比率



資金調達と流動性

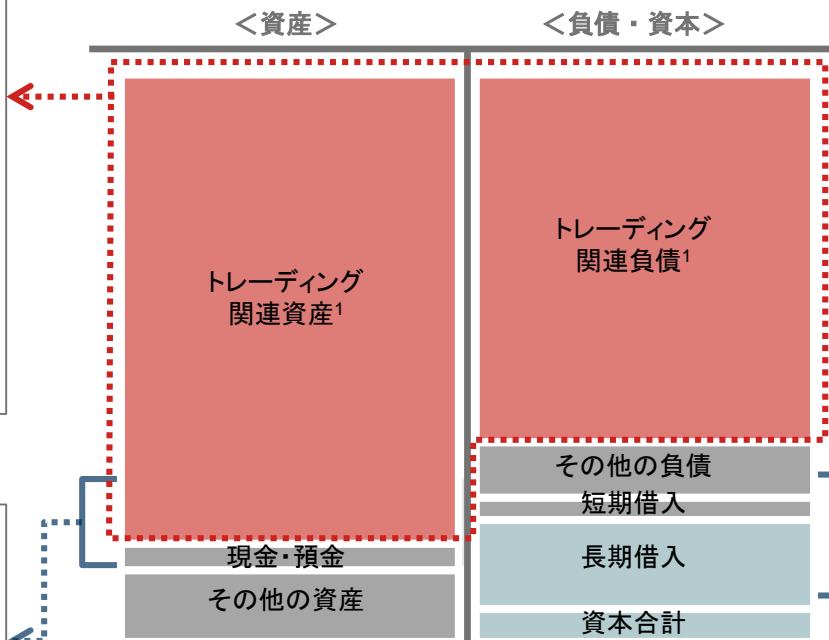
貸借対照表
(2020年3月末現在)

バランスシート構造

- 流動性の高い、健全なバランスシート構造
 - 資産の74%は流動性の高いトレーディング関連資産であり、Mark-to-marketの対象。レポ等を通じて、トレーディング関連負債とマッチング(地域、通貨)
 - その他の資産は、資本及び長期負債で調達しており、構造的に安定

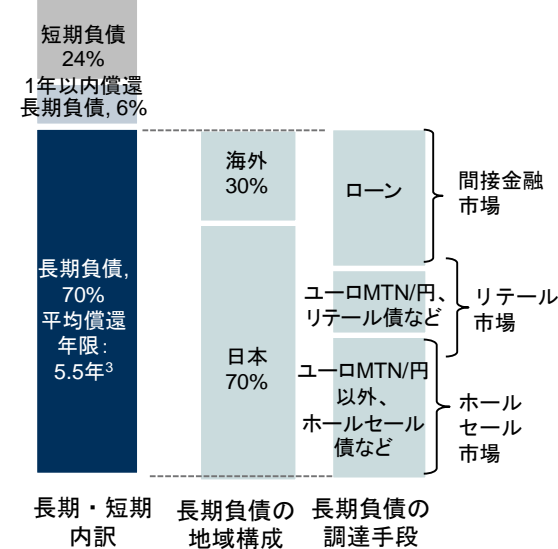
流動性ポートフォリオ²

- 流動性ポートフォリオ:
 - 5.4兆円、総資産の12%
 - 新たな無担保資金調達に頼らず、一定期間、事業継続可能な高い流動性を常時保持



無担保調達資金²

- 無担保調達資金の7割が長期負債
- 調達先は分散



1. トレーディング関連資産:リバース・レポ、証券、デリバティブ等 トレーディング関連負債:レポ、負債証券、デリバティブ等
 2. 流動性管理の観点に基づくもので、財務諸表の定義と異なる。流動性ポートフォリオの中の現金・預金は取引所預託金およびその他の顧客分別金を含まない
 3. 1年以内償還長期負債を除く。ストレステストでの早期償還確率を織り込む

Financial Supplement

バランス・シート関連データ

連結貸借対照表

(10億円)	2019年 3月末	2020年 3月末	前期比 増減		2019年 3月末	2020年 3月末	前期比 増減
資産				負債			
現金・預金	3,262	3,875	613	短期借入	842	1,487	645
貸付金および受取債権	3,882	5,117	1,235	支払債務および受入預金	3,768	4,397	629
担保付契約	17,307	15,907	-1,400	担保付調達	16,684	18,028	1,344
トレーディング資産および プライベートエクイティ・デット投資 ¹	14,386	16,898	2,512	トレーディング負債	8,220	8,546	326
その他の資産 ¹	2,133	2,203	70	その他の負債	859	1,034	176
				長期借入	7,916	7,776	-140
				負債合計	38,289	41,269	2,980
				資本			
				当社株主資本合計	2,631	2,653	22
				非支配持分	50	78	28
資産合計	40,969	44,000	3,030	負債および資本合計	40,969	44,000	3,030

1. 担保差入有価証券を含む

バリュー・アット・リスク

■ VaRの前提

- 信頼水準 : 99%
- 保有期間 : 1日
- 商品の価格変動等を考慮

■ VaRの実績(10億円)

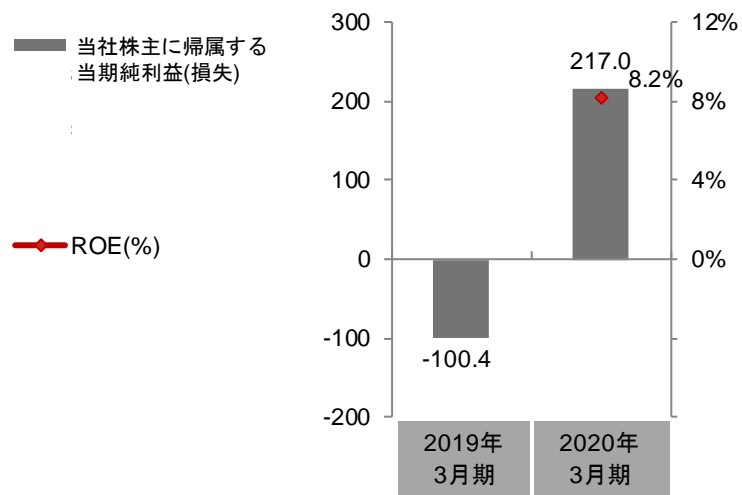
- 期間 : 2019.4.1~2020.3.31
- 最大 : 32.9
- 最小 : 3.6
- 平均 : 6.7

(10億円)	2019年 3月期	2020年 3月期	2019年3月 期	2020年3月期			
	3月末	3月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末
株式関連	1.1	8.9	1.1	1.2	1.8	1.4	8.9
金利関連	2.8	22.4	2.8	3.1	4.0	4.8	22.4
為替関連	1.9	5.1	1.9	3.2	3.2	2.5	5.1
小計	5.8	36.3	5.8	7.5	8.9	8.7	36.3
分散効果	-1.3	-11.0	-1.3	-1.5	-4.3	-2.3	-11.0
連結VaR	4.5	25.3	4.5	6.0	4.6	6.3	25.3

連結決算概要

通期

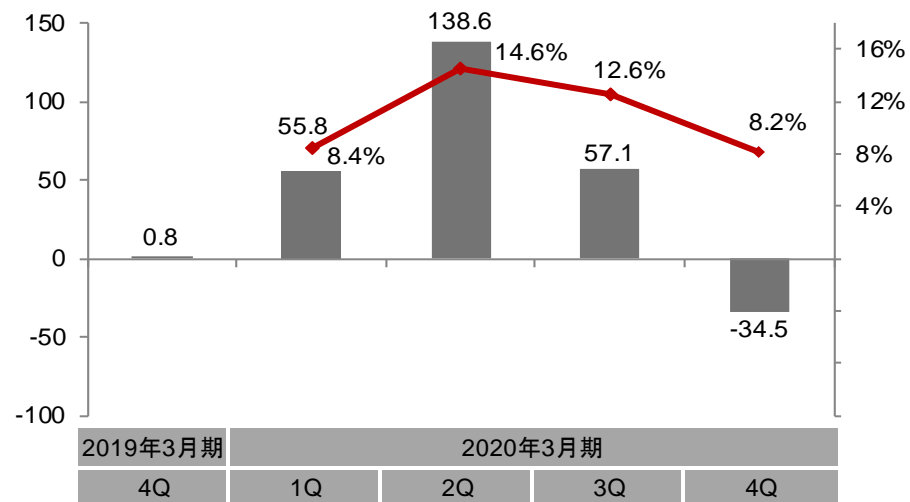
(10億円)



収益合計(金融費用控除後)	1,116.8	1,287.8
税引前当期純利益(損失)	-37.7	248.3
当社株主に帰属する 当期純利益(損失)	-100.4	217.0
当社株主資本合計	2,631.1	2,653.5
ROE(%) ¹	-	8.2%
1株当たり当社株主に帰属する 当期純利益(損失)(円)	-29.90	67.76
希薄化後1株当たり当社株主に帰属する 当期純利益(損失)(円)	-29.92	66.20
1株当たり株主資本(円)	794.69	873.26

四半期

(10億円)



項目	2019年3月期 4Q	2020年3月期			
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
収益合計(金融費用控除後)	301.3	332.0	383.4	335.0	237.5
税引前当期純利益(損失)	24.4	74.8	128.5	69.7	-24.7
当社株主に帰属する 当期純利益(損失)	0.8	55.8	138.6	57.1	-34.5
当社株主資本合計	2,631.1	2,662.7	2,707.9	2,701.2	2,653.5
ROE(%) ¹	-	8.4%	14.6%	12.6%	8.2%
1株当たり当社株主に帰属する 当期純利益(損失)(円)	0.25	16.83	42.11	18.07	-11.29
希薄化後1株当たり当社株主に帰属する 当期純利益(損失)(円)	0.23	16.48	41.23	17.63	-11.31
1株当たり株主資本(円)	794.69	800.87	837.87	873.68	873.26

1. 四半期のROEは、各決算期累計の当期純利益を年率換算して算出

連結損益

(10億円)	通期		四半期				
	2019年 3月期	2020年 3月期	2019年3月期	2020年3月期			
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
収益							
委託・投信募集手数料	293.1	308.8	66.1	68.2	65.3	79.3	96.1
投資銀行業務手数料	101.5	103.2	25.3	27.3	22.3	26.8	26.8
アセットマネジメント業務手数料	245.5	238.2	59.2	60.0	59.9	61.0	57.3
トレーディング損益	343.0	356.6	98.4	112.8	105.6	109.3	28.9
プライベートエクイティ・デット投資関連損益	1.0	-0.1	-0.3	0.8	1.0	1.5	-3.4
金融収益	777.0	794.5	204.1	199.5	215.9	203.1	176.1
投資持分証券関連損益	-7.0	-14.7	1.9	-2.8	2.1	2.2	-16.2
その他	81.1	166.0	43.7	45.7	101.9	14.3	4.2
収益合計	1,835.1	1,952.5	498.4	511.4	573.9	497.5	369.7
金融費用	718.3	664.7	197.1	179.4	190.5	162.5	132.3
収益合計(金融費用控除後)	1,116.8	1,287.8	301.3	332.0	383.4	335.0	237.5
金融費用以外の費用	1,154.5	1,039.6	276.9	257.2	254.9	265.3	262.2
税引前当期純利益(損失)	-37.7	248.3	24.4	74.8	128.5	69.7	-24.7
当社株主に帰属する当期純利益(損失)	-100.4	217.0	0.8	55.8	138.6	57.1	-34.5

連結決算：主な収益の内訳

	通期		四半期					
	2019年 3月期	2020年 3月期	2019年3月期	2020年3月期				
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
(10億円)								
委託・投信 募集手数料	委託手数料-株式	192.0	196.5	43.9	42.6	42.5	48.1	63.3
	委託手数料-株式以外	14.4	14.4	2.5	2.7	2.8	3.0	5.9
	投信募集手数料	56.6	66.7	11.7	16.4	12.6	19.0	18.6
	その他手数料	30.0	31.2	8.0	6.4	7.4	9.2	8.2
	合計	293.1	308.8	66.1	68.2	65.3	79.3	96.1
投資銀行 業務手数料	株式	30.0	14.0	3.6	3.1	4.9	4.1	2.0
	債券	22.7	25.5	5.3	6.8	6.6	6.1	6.1
	M&A・財務コンサルティングフィー	33.2	41.6	13.0	10.6	7.1	11.9	12.2
	その他	15.5	22.1	3.4	6.9	3.8	4.8	6.6
	合計	101.5	103.2	25.3	27.3	22.3	26.8	26.8
アセット マネジメント 業務手数料	アセットマネジメントフィー	168.7	159.5	40.2	40.3	40.0	40.7	38.6
	アセット残高報酬	61.0	62.6	15.2	15.7	16.0	16.3	14.7
	カストディアルフィー	15.8	16.1	3.9	4.0	4.0	4.1	4.0
	合計	245.5	238.2	59.2	60.0	59.9	61.0	57.3

連結決算:セグメント情報と地域別情報 税前利益(損失)

連結決算数値とセグメント数値間の調整:税前利益(損失)

(10億円)	通期		四半期				
	2019年 3月期	2020年 3月期	2019年3月期	2020年3月期			
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
営業部門	49.5	49.4	3.3	8.1	5.3	17.6	18.4
アセット・マネジメント部門	34.2	28.8	14.4	18.1	10.0	9.3	-8.7
ホールセール部門	-111.4	92.2	-13.0	20.0	18.9	43.2	10.1
3セグメント合計税前利益	-27.7	170.4	4.7	46.3	34.2	70.2	19.8
その他	-2.8	99.2	17.8	31.5	93.4	2.2	-27.9
セグメント合計税前利益	-30.5	269.6	22.5	77.7	127.7	72.4	-8.2
営業目的で保有する 投資持分証券の評価損益	-7.2	-21.3	1.8	-2.9	0.8	-2.7	-16.6
税前利益(損失)	-37.7	248.3	24.4	74.8	128.5	69.7	-24.7

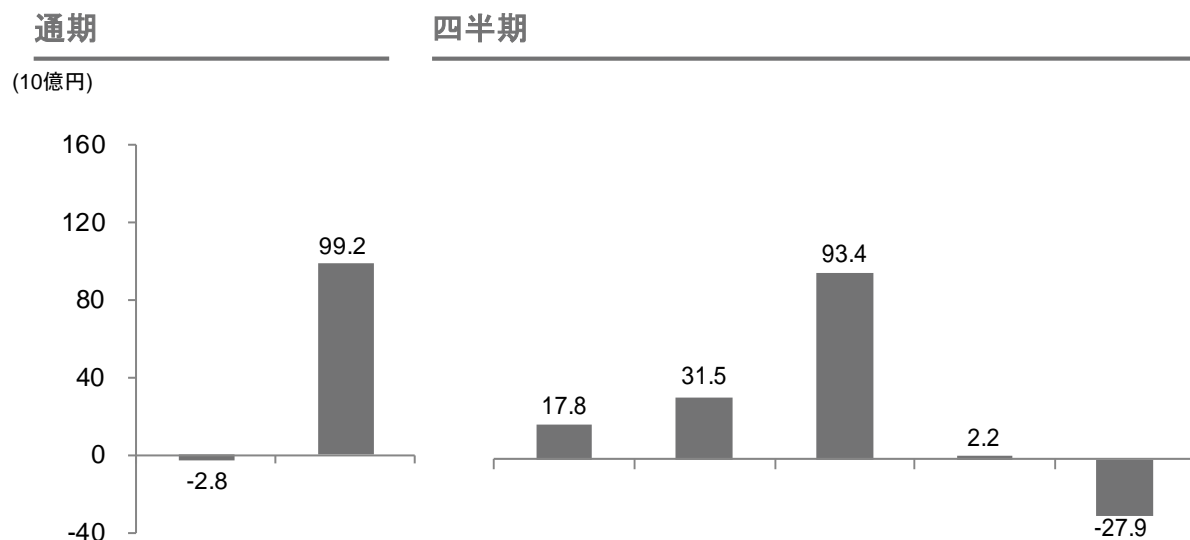
地域別情報:税前利益(損失)¹

(10億円)	通期		四半期				
	2019年 3月期	2020年 3月期	2019年3月期	2020年3月期			
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
米州	-114.1	7.4	-3.7	14.3	1.1	16.4	-24.4
欧州	-56.9	-14.1	-25.5	4.5	-1.5	2.3	-19.5
アジア・オセアニア	5.0	19.8	8.7	11.6	10.5	1.0	-3.3
海外合計	-165.9	13.1	-20.5	30.4	10.2	19.7	-47.2
日本	128.2	235.2	44.9	44.4	118.3	50.0	22.5
税前利益(損失)	-37.7	248.3	24.4	74.8	128.5	69.7	-24.7

1. 米国会計原則に基づく「地域別情報」を記載(但し当第4四半期の数値は速報値)。米国会計原則に基づく「地域別情報」は、その収益および費用の各地域への配分が原則として役務の提供される法的主体の所在国に基づき行われており、当社において経営管理目的で用いられているものではありません

セグメント「その他」

税前利益(損失)



	通期		四半期				
	2019年 3月期	2020年 3月期	2019年3月期 4Q	2020年3月期			
				1Q	2Q	3Q	4Q
経済的ヘッジ取引に関連する損益	1.8	17.5	6.6	12.8	7.0	2.3	-4.6
営業目的で保有する投資持分証券 の実現損益	0.2	6.6	0.1	0.1	1.3	4.9	0.3
関連会社損益の持分額	32.5	35.0	15.9	8.3	8.0	4.8	13.9
本社勘定	-36.0	-22.2	-10.4	1.4	-4.6	-9.1	-9.9
その他	-1.3	62.3	5.7	8.9	81.8	-0.8	-27.7
税前利益(損失)	-2.8	99.2	17.8	31.5	93.4	2.2	-27.9

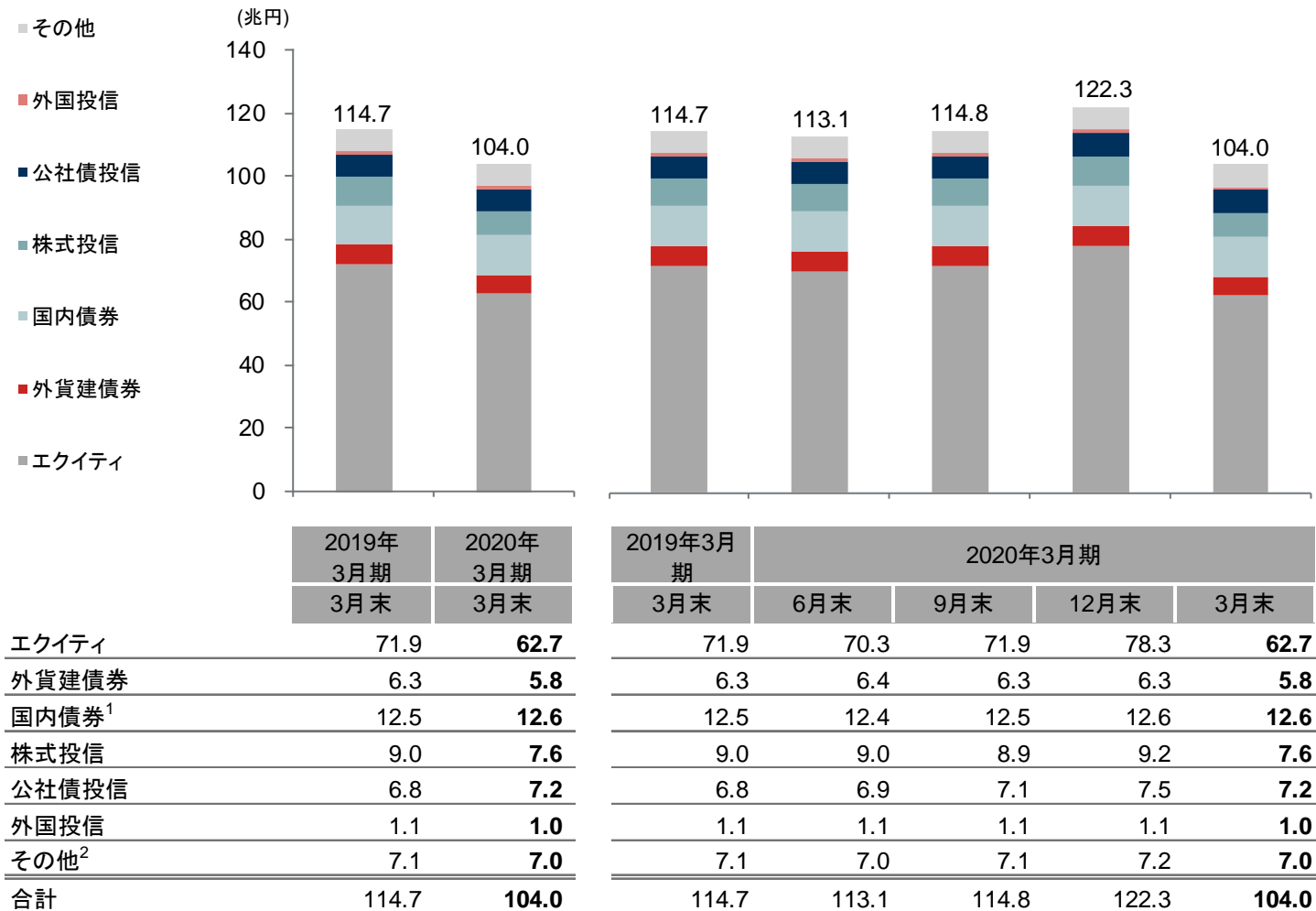
営業部門関連データ(1)

(10億円)	通期		四半期					前四 半期比	前年 同期比
	2019年 3月期	2020年 3月期	2019年3月期	2020年3月期					
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
委託・投信募集手数料	142.8	153.2	31.0	34.5	31.2	42.2	45.4	7.4%	46.1%
うち株式委託手数料	60.2	61.2	12.2	12.5	12.6	17.0	19.1	12.1%	56.1%
うち投資信託募集手数料	57.9	66.9	12.1	16.5	12.6	19.2	18.6	-2.8%	54.0%
販売報酬	55.8	56.8	10.5	14.9	12.7	16.7	12.6	-24.6%	19.8%
投資銀行業務手数料等	34.0	23.2	6.7	5.6	6.0	5.5	6.1	12.2%	-8.3%
投資信託残高報酬等	95.4	92.1	23.4	23.4	23.4	23.2	22.2	-3.9%	-4.9%
純金融収益等	11.5	11.1	2.6	2.3	3.7	2.6	2.5	-2.0%	-2.4%
収益合計(金融費用控除後)	339.5	336.4	74.2	80.6	76.9	90.0	88.8	-1.4%	19.7%
金融費用以外の費用	290.0	286.9	70.9	72.5	71.6	72.4	70.4	-2.8%	-0.7%
税前利益	49.5	49.4	3.3	8.1	5.3	17.6	18.4	4.4%	5.6x
国内投信販売金額 ¹	2,423.7	2,932.1	499.8	741.5	566.7	790.9	833.0	5.3%	66.7%
株式投信	2,130.8	2,519.3	426.4	618.8	493.5	694.8	712.1	2.5%	67.0%
外国投信	292.9	412.8	73.4	122.7	73.2	96.1	120.9	25.9%	64.7%
その他									
年金保険契約累計額(期末)	3,260.7	3,453.7	3,260.7	3,308.7	3,356.7	3,415.4	3,453.7	1.1%	5.9%
個人向け国債販売額 (約定ベース)	1,022.8	1,146.9	266.6	296.7	236.4	315.9	297.9	-5.7%	11.8%
リテール外債販売額	848.9	841.4	210.1	222.0	195.4	266.5	157.5	-40.9%	-25.0%

1. 旧ネット&コールを除く。

営業部門関連データ(2)

営業部門顧客資産残高



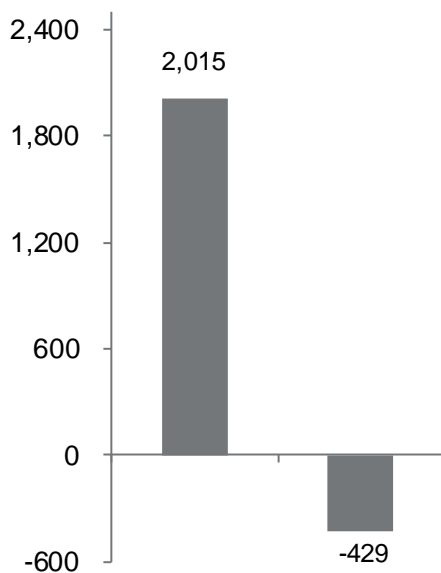
1. CB・ワラントを含む 2. 年金保険契約資産残高を含む

営業部門関連データ(3)

現金本券差引¹

通期

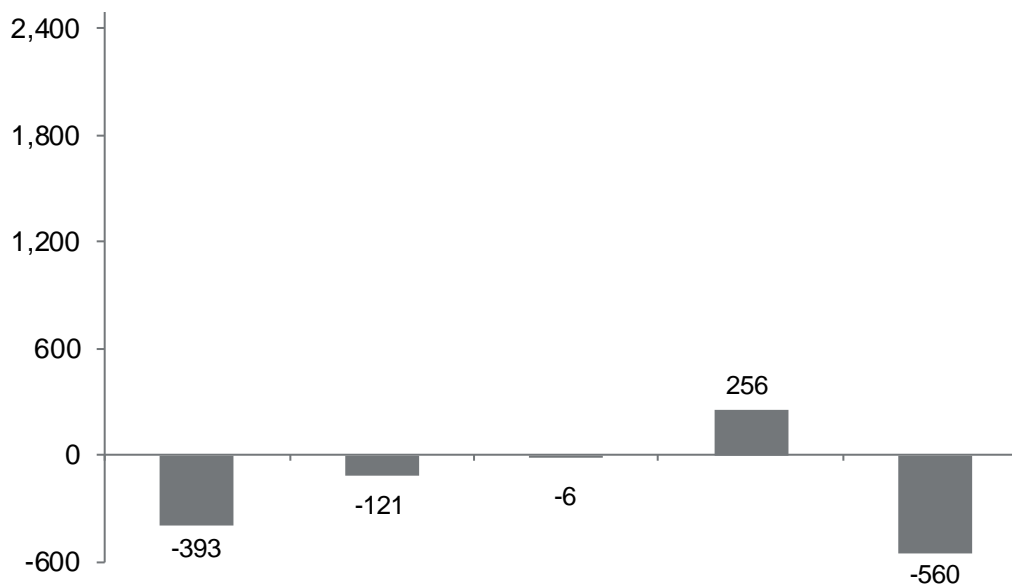
(10億円)



2019年3月期 2020年3月期

四半期

(10億円)



2019年3月期

2020年3月期

4Q

1Q

2Q

3Q

4Q

1. 地域金融機関を除く、現金および本券の流入から流出を差引

営業部門関連データ(4)

口座数

(千口座)	2019年3月期	2020年3月期	2019年3月期	2020年3月期			
	3月末	3月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末
残あり顧客口座数	5,338	5,319	5,338	5,335	5,326	5,328	5,319
株式保有口座数	2,908	2,920	2,908	2,914	2,913	2,897	2,920
オンラインサービス口座数	4,569	4,703	4,569	4,601	4,632	4,662	4,703

個人新規開設口座数・IT比率¹

(千口座)	通期		四半期				
	2019年 3月期	2020年 3月期	2019年3月期	2020年3月期			
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
個人新規開設口座数	257	203	60	49	48	47	59
IT比率 ¹							
売買件数ベース	78%	79%	80%	79%	79%	78%	80%
売買金額ベース	53%	54%	53%	53%	53%	52%	56%

1. 現物株のうち、オンラインサービスを通じて売買された割合

アセット・マネジメント部門関連データ(1)

(10億円)	通期 ¹		四半期 ¹					前四 半期比	前年 同期比
	2019年 3月期	2020年 3月期	2019年3月期	2020年3月期					
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
収益(除:ACI関連損益)	102.9	100.2	26.0	25.8	25.0	26.0	23.4	-10.0%	-10.0%
ACI関連損益	-5.0	-7.6	4.9	8.7	0.7	-0.6	-16.4	-	-
収益合計(金融費用控除後)	97.8	92.6	30.9	34.5	25.7	25.4	7.0	-72.4%	-77.3%
金融費用以外の費用	63.7	63.8	16.5	16.4	15.6	16.1	15.8	-2.0%	-4.3%
税前利益(損失)	34.2	28.8	14.4	18.1	10.0	9.3	-8.7	-	-

運用資産残高 - 会社別

(兆円)	2019年	2020年	2019年3月	2020年3月期			
	3月期	3月期	期	3月期			
	3月末	3月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末
野村アセットマネジメント	53.4	50.6	53.4	53.4	54.1	57.3	50.6
ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント	3.0	2.5	3.0	3.0	3.0	3.1	2.5
運用資産残高(グロス) ²	56.4	53.2	56.4	56.4	57.2	60.4	53.2
グループ会社間の重複資産	5.0	3.9	5.0	4.8	4.7	4.8	3.9
運用資産残高(ネット) ³	51.4	49.3	51.4	51.6	52.4	55.6	49.3

1. この表は、アセット・マネジメント部門における収益合計(金融費用控除後)に対する、管理会計ベースで作成された米国会計原則に基づかない指標である収益(ACI関連損益を除く)およびACI関連損益の調整を示す。「ACI関連損益」には、当社が保有するACI株式の時価評価損益、ACI株式取得資金に係る利息相当額、および当社がACIから受領した配当金が含まれる

2. 野村アセットマネジメント、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント、ウエルス・スクエアの運用資産の単純合計

3. 運用資産残高(グロス)から重複資産控除後

アセット・マネジメント部門関連データ(2)

アセット・マネジメント部門 資金流入入－ビジネス別¹

(10億円)	通期		四半期				
	2019年 3月期	2020年 3月期	2019年3月期 4Q	2020年3月期			
				1Q	2Q	3Q	4Q
投資信託ビジネス	2,187	1,788	503	672	259	296	560
うちETF	2,531	2,133	483	642	246	115	1,130
投資顧問ビジネス	20	302	109	-164	121	198	146
資金流入入 合計	2,207	2,090	612	508	381	494	707

国内公募投信残高推移と野村アセットマネジメントのシェア²

(兆円)	2019年 3月期	2020年 3月期	2019年3月期	2020年3月期			
	3月末	3月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末
国内公募株式投信残高							
マーケット	101.5	93.9	101.5	101.9	104.3	109.9	93.9
野村アセットマネジメントシェア	26%	26%	26%	26%	26%	26%	26%
国内公募公社債投信残高							
マーケット	11.6	12.5	11.6	11.7	11.9	13.3	12.5
野村アセットマネジメントシェア	45%	44%	45%	44%	44%	44%	44%
ETF残高							
マーケット	37.4	37.6	37.4	38.2	39.9	43.3	37.6
野村アセットマネジメントシェア	45%	45%	45%	45%	45%	45%	45%

1. 運用資産残高(ネット)に基づく資金流入入 2. 出所: 投資信託協会

ホールセール部門関連データ

(10億円)	通期		四半期					前四 半期比	前年 同期比
	2019年 3月期	2020年 3月期	2019年3月期	2020年3月期					
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
収益合計(金融費用控除後)	555.4	648.6	142.2	159.5	156.7	186.5	145.9	-21.8%	2.6%
金融費用以外の費用	666.8	556.4	155.3	139.5	137.8	143.3	135.8	-5.2%	-12.5%
税前利益(損失)	-111.4	92.2	-13.0	20.0	18.9	43.2	10.1	-76.6%	-

ホールセール部門 収益の内訳¹

(10億円)	通期		四半期					前四 半期比	前年 同期比
	2019年 3月期	2020年 3月期	2019年3月期	2020年3月期					
			4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
フィクスト・インカム	232.8	337.5	68.0	82.5	77.2	99.7	78.0	-21.8%	14.7%
エクイティ	220.2	225.4	45.6	53.3	55.6	60.3	56.3	-6.8%	23.5%
グローバル・マーケット	453.0	562.9	113.6	135.7	132.8	160.1	134.3	-16.1%	18.2%
インベストメント・バンキング	102.3	85.7	28.6	23.7	23.9	26.4	11.6	-56.0%	-59.4%
収益合計(金融費用控除後)	555.4	648.6	142.2	159.5	156.7	186.5	145.9	-21.8%	2.6%

1. この表は、ホールセール部門における収益合計(金融費用控除後)に対する、管理会計ベースで作成され、米国会計原則に基づかないグローバル・マーケットおよびインベストメント・バンキングに係る指標の調整を示す

	2019年 3月期	2020年 3月期	2019年3月期	2020年3月期			
	3月末	3月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末
日本	15,852	15,748	15,852	16,423	16,119	15,971	15,748
欧州	2,909	2,691	2,909	2,775	2,734	2,658	2,691
米州	2,357	2,120	2,357	2,230	2,167	2,116	2,120
アジア・オセアニア ¹	6,746	6,070	6,746	6,684	6,692	6,554	6,070
合計	27,864	26,629	27,864	28,112	27,712	27,299	26,629

1. インド(ボワイ・オフィス)を含む

Disclaimer

本資料は、野村ホールディングス株式会社が、米国会計基準による2020年3月期第4四半期に関する情報の提供を目的として作成したものです。

本資料は、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。売付または買付の勧誘は、それぞれの国・地域の法令諸規則等に則って作成・配布される募集関連書類または目論見書に基づいて行われます。

本資料に掲載されている情報や意見は、信頼できると考えられる情報源より取得したものです。その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落、誤謬、本情報の使用により引き起こされる損害等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

本資料の一切の権利は別段の記載がない限り野村ホールディングス株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、当社の書面による承諾を得ずに複製または転送等を行わないようお願いいたします。

本資料は、将来の予測等に関する情報(「将来予測」)を含む場合があります。また当社の経営陣は将来予測に関する発言を行うことがあります。これらの情報は、過去の事実ではなく、あくまで将来の事象に対する当社の予測にすぎず、その多くは本質的に不確実であり、当社が管理できないものであります。実際の結果や財務状態は、これらの将来予測に示されたものとは、場合によっては著しく異なる可能性があります。したがって、将来予測は、過度に信頼すべきではなく、不確実性やリスク要因をあわせて考慮する必要がある点にご留意ください。実際の結果に影響を与える可能性がある重要なリスク要因としては、経済情勢、市場環境、政治的イベント、投資家のセンチメント、セカンダリー市場の流動性、金利の水準とボラティリティ、為替レート、有価証券の評価、競争の条件と質、取引の回数とタイミング等が含まれるほか、当社ウェブサイト(<https://www.nomura.com>)、EDINET(<http://info.edinet-fsa.go.jp/>)または米国証券取引委員会(SEC)ウェブサイト(<http://www.sec.gov>)に掲載されている有価証券報告書等、SECに提出した様式20-F年次報告書等の当社の各種開示書類にもより詳細な記載がございますので、ご参照ください。

なお、本資料の作成日以降に生じた事情により、将来予測に変更があった場合でも、当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。

本資料に含まれる連結財務情報は、監査対象外とされております。

Nomura Holdings, Inc.

www.nomura.com/jp/